資料1-4 廃棄物対策に関わる対応状況について

資料1-4-1

大型機器除染設備の運用開始及び今後の作業計画

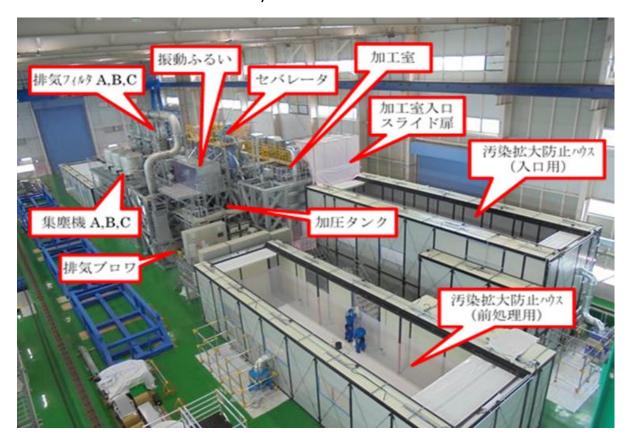
2018年6月6日



東京電力ホールディングス株式会社

概要

福島第一の廃炉作業にて発生した汚染金属は、瓦礫等として表面線量率に応じて一時保管している。これら汚染金属(主に汚染タンク片)については今後、減容処理、保管時における敷地境界線量の低減及び保管管理上のリスクを低減する目的で、除染を行うため、汚染金属を除染する大型機器除染設備を設置し、5月14日より運用を開始した。



《大型機器除染設備》

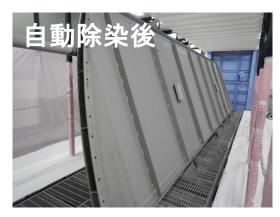


- ·機器設置後の性能試験(HOT):2018年4月5日~5月11日
- •大型機器除染設備竣工:2018年5月11日
- •実運用開始:2018年5月14日

<性能試験実施状況>



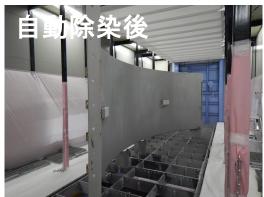




表面污染密度最大値(全β):(除染前)2000Bq/cm²⇒(除染後)13Bq/cm²







表面污染密度最大値(全β):(除染前)4500Bq/cm²⇒(除染後)5Bq/cm²



- ①解体されたフランジタンク片を対象に除染作業実施、除染後切断作業に引渡し
- ②除染せずに切断し、一時保管されているフランジタンク切断片の除染を実施
- ③大型機器を対象に除染作業を実施

【除染作業計画】

	2018度		2019年度	2020度	2021度	2022度 2023	度 2023度	2024度
除染対象物品	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8	3 9 10 11 12 1 2 3	上期 下期	上期 下期 -	上期 下期 上期	下期 上期 下期	月 上期 下期
フランジタンク解体片	▼5/14 実運用開始 2018年5月末状況							
フランジタンク切断片	フランジタンク334基中 200基の解体/切断作業が 134基分フランジタンクにつし 除染後、切断する運用に変更	いては						
その他大型機器								



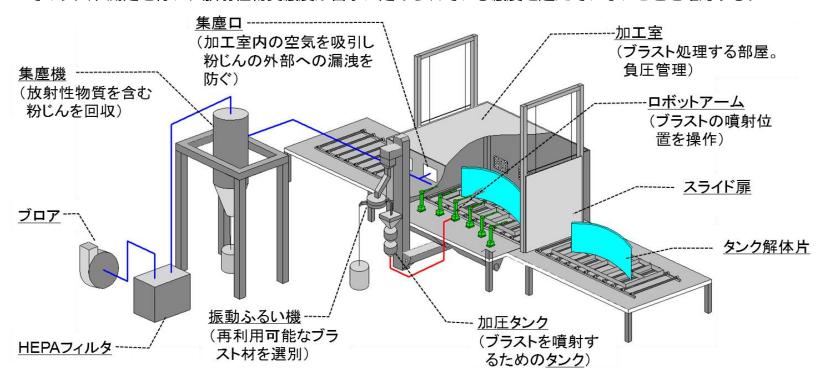
【設置目的】

1 F の廃炉作業にて発生した汚染金属は、瓦礫等として表面線量率に応じて一時保管している。 これら汚染金属(主に汚染タンク片)については今後、減容処理、保管時における敷地境界線量 の低減及び保管管理上のリスクを低減する目的で、除染を行うため、汚染金属を除染する大型機器除 染設備を設置する。(除染目標:全βで400Bq/cm²以下)

【設備概要】

除染対象物を専用の治具に固定し、加工室内でブラスト除染を行う。加工室は負圧管理しており、 除染にて発生した放射性物質を含む粉じんは集塵機にて捕集し、容器に回収する。

また、除染で使用した研掃材は回収し、汚染物と分離した後、研掃材は再利用し、汚染物は容器に回収する。なお、除染設備は既設建屋(大型機器点検建屋)内に配備し、設備排気口(ブロア出口)でのダスト測定を行い、放射性物質濃度が告示に定められている濃度を超えていないことを確認する。



資料1-4 廃棄物対策に関わる対応状況について

資料1-4-2

福島第一原子力発電所 増設雑固体廃棄物焼却設備の進捗状況

2018年6月6日



東京電力ホールディングス株式会社

概要

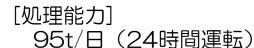


◆工事概要

構内の廃炉作業に伴い発生した伐採木等の焼却処理を目的として、増設雑固体廃棄物焼却炉建屋を新設する。 現在、1,2階の躯体工事として、鉄筋コンクリート工事・鉄骨工事を実施中。

「建屋構造・規模」

	耐震	構造	階数		軒高	建築面積	延床面積	
	クラス		地下	地上	(m)	(m2)	(m2)	
	В	RC造	0	5	36. ⁴¹	4,012. ⁸⁹	9,110.81	



◆工期

• 準備着手: 2017年4月

建屋躯体:2017年5月~2019年12月(予定)

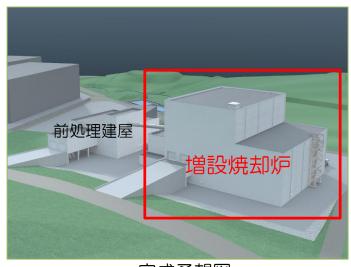
• 供用開始: 2020年12月(予定)

◆許認可:2017年4月11日:実施計画変更認可申請

2018年4月19日: 実施計画認可



案内図



完成予想図

1. 工事状況写真





工事進捗率:2018年5月末: 29%



1 空撮



② 全景



③ 2階プレキャストコンクリート壁設置



4 焼却炉架台構築

2. 工程表



